

## 専門研修「脳神経外科」プログラム

年限：5年 募集人数：1名 募集形態：公募 専門医名：脳神経外科専門医

当院は日本脳神経外科学会の指定訓練施設（A項）である。当院および東京女子医科大学脳神経外科での脳神経外科臨床専従期間が3年以上で、日本脳神経外科学会の所定の条件を満たせば、医師免許取得6年以上で専門医受験資格が得られる。また日本脳卒中学会認定研修教育病院でもある。

プログラム責任者：竹下幹彦（診療部長、脳神経外科）

1978年金沢大学医学部医学科卒業、医学博士。同年5月東京女子医科大学脳神経外科入局。1980年4月より脳神経外科助手。1997年6月より脳神経外科講師。2002年2月より牛久愛和総合病院勤務。脳神経外科部長、2002年2月より副院長。日本脳神経外科学会専門医。日本脳卒中学会専門医、東京女子医科大学脳神経外科講師

指導医

竹下幹彦（診療部長、脳神経外科）

診療科メンバー

指導医に加え、東京女子医科大学脳神経外科医局より、ローテートで2名（うち1名は脳神経外科専門医）で研修指導に当たる。

一般目標

脳・神経系疾患に対し幅広い知識と技能を持ち、人間性豊かな総合的臨床能力を持つ脳神経外科医となること。

具体的目標

専門研修（脳神経外科）5年目に日本脳神経外科学会専門医資格を取得すること。脳神経外科領域全般にわたり標準的診断能力を持つとともに、**subspeciality**の確立に向け始動すること。救急診療、神経放射線科、神経内科、リハビリテーション科などの関連分野の基本的診療能力を持つようにすること。

方略

当院は二次救急施設であるため、神経外傷や脳血管障害などの多くの脳神経外科救急疾患症例がある。従ってこの分野で、初期診療から外科治療、そしてリハビリテーションを含めた回復期診療までを研修することが可能である。地域連携治療を重視しているため、地域の開業医師および医療機関との連携による診療体系の中で急性期医療機関としての役割や使命に即した診療の実戦が可能である。神経放射線学の研修、先天性疾患、脳動静脈奇形などに対するガンマナイフ治療、脳腫瘍に対する免疫療法や放射線・化学療法、オープンMRIなどを用いた手術などの先端的な治療については東京女子医科大学脳神経外科と連携した研修を行う。専門医受験レベルの資質を習得できるように研修カリキュラムの年次到達目標を基本にして、各自の希望を取り入れ研修計画を立てる。

## 評価

評価は、当院診療部の人事評価方法に基づき年次毎に行う。研修先医療機関（東京女子医科大学脳神経外科）での研修に関しては、研修先医療機関での指導者が評価に加わる。これらの評価結果については、次年度の研修計画にフィードバックする。